

語句注釈

語句注釈

《さ行》

サテライト

英語で「衛星」を意味する。本計画書では、始良市役所を中心にみたときに周囲に存在するコミュニティの場となりうる場所のこと。

サロン

地域で、高齢者が地域の人同士のつながりを深める場所のこと。

GIS(ジー・アイ・エス)

地理情報システムの略。位置や空間に関する様々な情報を、コンピューター上で重ね合わせ、情報の分析・解析を行ったり、情報を視覚的に表示させるシステムのこと。

シームレス

途切れない、継ぎ目のないなどの意味。

自家用有償運送

国土交通大臣又は事務・権限の移譲を受けた地方公共団体の長から登録を受けた市町村やNPO法人等が、自家用車を使用して有償で運送できることとする制度のこと。

スマートインターチェンジ

高速道路の本線上、またはサービスエリア、パーキングエリア、バス停に設置されているETC専用のインターチェンジのこと。

セットバック

建物の壁面を前面道路よりも後退させて、道路空間を広く確保すること。

《た行》

デマンド交通

利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行先を希望し運行するもの。複数人で各々の行先へ行くこともできる。利用者がいなければ走る必要がなく小型車で済むことから、運行経費を削減することができる。また、バス等の大型車両が通れない狭い道でも運行することができる。

《な行》

二次交通

複数の交通機関等を利用する場合の2種類目の交通機関のこと。鉄道駅からのバスやタクシー等の交通手段を指すことが多い。

《は行》

パーク＆ライド

自動車・バイク・自転車等を公共交通機関乗降所に設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道やバスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法のこと。

バスシェルター

バス停留所に設けられる、風雨よけのための設備のこと。

バリアフリー

障がい者や高齢者等の生活や歩行の障害となる段差等を取り除くこと。

ブランディング

ブランドとして認知されていないものをブランドに育てあげる、あるいはブランド構成要素を強化し、活性・維持していくこと。

《ま行》

モビリティ・マネジメント

多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域の移動状況が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取組のこと。一般的には、マイカー利用から公共交通利用へと移動手段を移行していく活動のことを言う。

《や行》

ユニバーサルデザイン

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計やデザインのこと。バリアフリーを広義にとらえた概念で使われる。

ユビキタス

いつでもどこでも簡単に、欲しい情報が得られること。

始良市地域公共交通網形成計画

平成 29 年 3 月

発行／始良市地域公共交通会議

(事務局：始良市 企画部 地域政策課)

〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町 25 番地

TEL 0995-66-3121 FAX 0995-65-7112